



わたしの夢

川俣高校3年

梅津 彰太

祖父のようにモノづくりに
携わる仕事に就きたい

わたしの夢は、モノづくりに携わる仕事に就くことです。もともと祖父が大工をやっていて、小さい頃は祖父が家の作業場でベンチや棚を作る姿を見ていました。作業場で祖父の作業風景を見たり、木の板から作品が完成していく過程を見るのが好きで、私自身も技術の授業で本棚を作ったりするのが好きでした。今住んでいる実家や敷地内にある作業場、物置、秋山にあるお寺なども祖父が作ったものだと思っています。そんな祖父が建てた建築物を見るたびに誇りに思います。また、私は母のことをとても尊敬しています。母は私が生まれたときから1人で私たち兄弟を育ててくれました。1人で子育てするのはとても大変だと思いますし、自分の時間を削ってまで頑張ってくれているので、社会人になったら母の時間を少しでも多くしてあげられるようにしたいです。また、働き始めたら今まで何も買ってあげたことがないので母に何かプレゼントしたいと思います。

町長のひとこと vol.23



今月は、ふれあいいきいきサロン「上東夢クラブ」の3月の行事であるひな祭りに参加し、会長の佐藤武義さん他17名の皆さんと懇談してきました。このクラブは毎月第3日曜日を例会日として開催し、現在の会員18名だそうです。今月の例会日では、おつまみセットの他、差し入れの団子や赤飯、お菓子等たくさん差し入れがありました。また、手づくりのそうめんを食べながら、少しお屠蘇（お酒）も入り、和やかな雰囲気でした。「上東夢クラブ」は、男性の参加も多く、65歳で会員になりますが、まだ仕事を続けている人のために日曜日に開催し、参加しやすくするなど工夫をしているとのことでした。今後は一人暮らしも増えてくるので、昔ながらの季節行事を開催するなどして会員同士の親睦とコミュニケーションを図りながら、元気な「上東夢クラブ」の活動を続けていきたいとのことでした。